

感染症アーカイブズ・セミナー (2021年度秋)

感染症アーカイブズは、感染症や国際保健の専門家をお招きして、高等学校の先生方や高校生の皆さんとともに、世界が直面している感染症やNTDs(顧みられない熱帯病)について学ぶ機会を設けました。皆様、ぜひご参加ください。(1日だけのご参加も大歓迎です)

参加費 無料
 開催方法 Zoomでのオンライン開催
 定員 100名
 参加申込先(右下のQRコードもご利用いただけます)
https://aidh.jp/2021/09/28/news_20210928/

10月24日(日) 14:00~16:00



飯島渉(青山学院大学文学部、感染症アーカイブズ代表)
 「総論:20世紀のマラリア対策史と日本の経験」
 金子明(大阪市立大学医学部)
 「マラリアという熱帯感染症の特徴、制圧の経験」
 長島美紀・飯塚由美子(Malaria No More Japan、認定NPO法人)
 「マラリア制圧のための国際的な取り組み、NPOの活動」
 吉岡浩太(長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科)
 「日本に今ある顧みられない熱帯病」

10月31日(日) 14:00~16:00

飯島渉(青山学院大学文学部、感染症アーカイブズ代表)
 「総論:20世紀日本における風土病対策史」
 千種雄一(獨協医科大学医学部)
 「日本住血吸虫症という感染症の特徴、日本における制圧の道程」
 門司和彦(長崎大学多文化社会学部)
 「なぜ国際保健の道に進んだのか、関係人材の養成の課題」
 倉持利明・巖城隆(目黒寄生虫館)
 「目黒寄生虫館の紹介、歴史総合における博物館の活用」

主催:感染症アーカイブズ(AIDH)

このセミナーは、令和3年度日教弘本部奨励金の助成を受けています。

(写真)20世紀後半までリンパ系フィラリア症が流行していた愛媛県三崎町(2019年撮影、一部加工)